

「阿波ふうど情報」 (vol.10)

発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話 088-624-7362 / ファクシ 088-624-8751
住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館8階



「生産振興対策」情報

「ザーサイ」順調に生育しています！

マーケットイン型産地づくりに向け各種生産振興対策を進めています。
ザーサイ栽培実証は鳴門藍住農業支援センターの協力で報告します。

「ザーサイ栽培」農家名：平田さん(板野郡上板町)

栽培面積7a、品種「ちからこぶザーサイ(増田採種場)」を使用
播種[9月10日] → 定植[10月13日] → 収穫[1月下旬]を予定
肥培管理などはブロッコリーの栽培方式を応用



「ザーサイ漬物」



生育状況(11月22日)「草丈約60cm」



肥大始まり(別圃場)



生育初期に「サルハムシ」発生

○「暖地ザーサイ」産地化に向け活動継続中、見学自由です！

「イベント情報」

オーガニックライフスタイルEXPO報告(その2)

オーガニックライフスタイルEXPOの主催者から、『オーガニックはオーガニック1.0から2.0へと変遷を重ね、新たな視点「環境」と「持続可能性」を加えたオーガニック3.0に拡大する』との提言があった。

また様々な視点のセミナーもあり、特徴的な「講座」について報告します。

○「エシカルフード講座」(山本謙治氏)

- ・エシカルは「倫理的な」と、訳される。
食品と食品以外(衣住)を含めた生産・流通・消費活動で、今後重要なキーワードとなる。
エシカル消費”倫理的な消費(購入)”は、東京オリンピックに向け拡大するだろう。
エシカル消費は、まだ日本では萌芽状態なのでチャンス。「楽しむエシカル」を！

・すでに、東京オリンピックの準備が始まっている

原産地表示制度
水産物トレーサビリティ
農業生産工程管理(GAP)など

→ これら商品の
優遇は確実

・注目すべき言葉

「環境問題」と「フェアトレード」 → すでに競争状態
「アニマルウェルフェア」 → 今後注目を集まる。かなり難しいが対応必要だろう



山本謙治氏
(株)グッドテーブルズ



拡大が予想される「海のエコラベル」

「とくしまブランド推進機構」 愛称：地域商社 阿波ふうど

☆阿波ふうど

「AWA FOOD」とは？

「阿波(徳島)の風土に育まれた幸をもたらす」ということを表現



「とくしまブランド推進機構」は、「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目的に、マーケットイン型の生産・流通・販売を総合的に推進するため、徳島県・県農業開発公社・JA徳島中央会・JA全農とくしまの4者が創設した組織です。